

令和7年度学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立神代高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 主幹教諭(生活指導主任兼務)=事務局長、教務主任(兼務) 1名 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主任教諭(教務担当)、主幹教諭(生活指導担当) 計5名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
PTA会長、近隣中学校長、近隣自治会長、近隣警察署代表
警察署長 計4名

2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～4回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和7年6月19日（木）内部委員5名、協議委員3名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
学校経営計画、昨年度の学校経営報告、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
本校の現状と課題等説明、意見交換
 - 第2回 令和7年11月27日（木）内部委員5名、協議委員3名
授業公開、これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価アンケート内容検討、協議
 - 第3回 令和8年2月19日（木）内部委員5名、協議委員1名
学校評価アンケートの報告及び学校運営に関する提言、協議
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和7年6月18日（水）内部委員2名、協議委員0名
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察
今年度の学校評価の実施に向けた検討
 - 第2回 令和7年11月26日（木）内部委員2名、協議委員0名
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
 - 第3回 令和8年2月12日（木）内部委員2名、協議委員2名（書面参加）
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、評価報告書（原案）の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・12月 全校生徒 対象：53人 回収：35人 回収率：66.0%
 - ・12月 保護者全員 対象：53人 回収：19人 回収率：35.8%
 - ・12月 教職員 対象：8人 回収：8人 回収率：100%
 - ・12月 地域商店街 対象：14人 回収：14人 回収率：100%
- (3) 主な評価項目
 - ・学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備など
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
 - ・昨年度比較し、生徒の授業への満足度は上がっているといえる。
 - ・授業規律は守られており、生活指導についても生徒、保護者からの支持を得ているといえる。
 - ・本校への入学を生徒は好意的に捉えているが、保護者は昨年度に比較し肯定的な意見の割合が若干減少していた。
 - ・今年度、評価委員の提案により地域商店街の方々への学校評価アンケートを実施したが、地域にあまり知られていないことが多いと分かった。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
 - ・「生徒による授業評価」の実施等により生徒の声を聞くとともに、少数の生徒ではあってもその気持ちを汲み取り、寄り添っていく姿勢と保護者のニーズを受け止めるが必要であると言える。
 - ・生活指導は、校外学習等のあらゆる機会にマナー意識を持たせる指導を継続して行う。
 - ・学校行事への参加率が向上してきたため、行事を精選し本当に必要なものを考えていき、学校生活に

メリハリをつけることが重要であると考えられる。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

（1）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・本校の生徒は地域の方々に見守られていることを再確認するとともに、生徒が安全・安心して学校生活を送るための情報を多く得られた。

（2）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・近隣商店街の行事に、若い力を求めている、生徒の協力を得たいと考えている。
- ・地域へ文化祭の実施をアピールし、一般の方々への参加を促す必要があるが、在籍している生徒の数が少ないため、あまり多くの方が来校すると対応できないというジレンマを抱えている。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（1）学校運営

- ・生徒・保護者に対して、機会あるたびに学校の教育目標の周知を図る。
- ・生活指導については、今まで以上に保護者との連携を強化する。
- ・学期ごとに校内研修会を実施する。
- ・学校評価アンケートで集約した保護者の意見を参考に、対応できることについては改善を図る。

（2）学習指導

- ・生徒の実態を踏まえ、興味・関心を引き出し、実際生活に即した学習となるよう授業改善に努める。

（3）特別活動

- ・生徒会を中心とした行事の充実と見直しを行う。

（4）生活指導

- ・マナー9カ条を周知徹底し、全員が社会人として必要なマナーを身につけることを目指すとともに、誰もが安心安全な居場所になるように努める。

（5）進路指導

- ・計画的・段階的な個に応じた進路活動で生徒の希望進路実現を目指す。

（6）健康・安全

- ・全日本学校歯科保健優良校奨励賞をいただいた。引き続き健康についての指導を行う。

6 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 0回 延0人

7 その他

- ・保護者のアンケート回収率を更に高めるため、Classiを活用した周知を活用していく。
- ・地域にある学校として、地域行事への参加を促していく。
- ・保護者や地域に対して、開かれた学校としての活動機会を増やしていく。